

「化石」にまつわるエトセトラ 化石魅力化プロジェクト

ゆきの灯り

第68号

令和4年9月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビイ



寝覚月

「まちの宝」を通して学びの「輪」が広がる

8月5日(金)、「えほんの国」子育て応援センター「企画による出前講座を、「天満屋福山店えほんの国」にて開催し、福山市内小学1年生から3年生までの親子10組が化石クリーニングを体験しました。

親子で協力しながら石を砕き、中から化石が出てくると歓声があがっていました。「楽しかった。」「大きな巻貝が出てびっくりした。」「等の感想が聞けました。

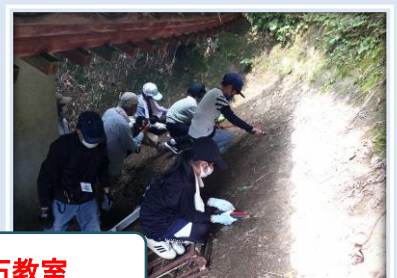
今回の講座は3月に府中市において開催した出前講座の情報を受けて、福山市が企画されたもので、改めて「きっかけから広がる生涯学習」の重要性を認識しました。今回の出前講座が、また新たな出会いに繋がれば幸いです。



「えほんの国」出前講座



子どもの化石教室



大人の化石教室



8月9日(火)10日(水)、「油木の歴史大発見(地学編)」をテーマに、油木小学校児童を対象に「子どもの化石教室」を開催しました。

これは、広島県公民館連合会から「令和4年度公民館等活性化モデル事業」の指定を受けたもので、「化石魅力化プロジェクト」の協力により実施したものです。

9日(火)

■学習活動「地球の歴史を学ぶ」

■創作活動「化石レプリカ作り」

尾森武尊先生・中西正一先生の指導で、「昔の地球の様子」や「化石のできた」を学び、石膏を使ったレプリカを作って着色しました。

10日(水)

■体験活動「化石発掘」(仙養ヶ原)

中西正一先生の指導で、地形の探索や実際に化石が含まれる地層から化石を発掘しました。

協働のまちづくりセミナー開催

8月24日(木)、油木コミュニティセンターを会場に、「みんなの集落研究所」(岡山県)代表執行役の石原達也さんを講師に招き、「他地域の挑戦事例やデータから考える地域の未来」をテーマに、「協働のまちづくりセミナー」が開催されました。

当日は、油木地区の将来的な人口推移に伴い想定される事象や、「みんなの集落研究所」が関わられた岡山・島根を中心とした取り組み等の先進事例の説明を聞き、その後、グループに分かれてのワークショップで、油木地区の現状を見据えながら「地域で考えること」「行政と考えること」をテーマに意見交流を行いました。

各グループからは、交通・買物・介護・病院・学校・仕事等々、日頃から憂いている課題が挙げられました。地域の現状を行政と共有・連携して解決していくためにも、今回のセミナーをきっかけに、「次の一手」が生まれれば良いですね。

当日は油木地区の各自治振興会から約20名が参加してのセミナーとなりました。



元気の出る「まち」

○なかなかできない体験をさせてもらい、とても良い機会になりました。○とっても良い経験をしました。にしかわ化石館へもぜひ行きます。

保護者の感想より

8月22日(月)、松岡敬二先生(理学博士・前豊橋市自然史博物館館長)を講師に招き「大人の化石教室」を開催しました。

松岡先生は油木出身で、幼少時から西川功さんとの交流体験を通じて「自然科学」を学ばれ、「にしかわ化石館」開館にあたり、指導・支援をいただいています。

■午前の部

「自然科学的感性は油木に原点あり」と題して、講演会を開催しました。

松岡先生の幼なじみの方や地域の方、町内外から理科教育の関係者の方が多数参加され、講演に耳を傾けられました。

■午後の部

神石高原町内の小中学校の先生方を対象に、講義・実技研修を開催しました。参加された先生方は、松岡先生の指導・助言を受け、熱心に研修を深められました。

夏休み子どもの読書会

7月31日(日)、シルトピアアカレッシ図書館を会場に、府中市立図書館田中いづみ館長を講師に迎え、「夏休み子どもの読書会」が開催され、2名の小学生が参加しました。

今回の読書会では「かあちゃん取扱説明書」という本を題材に、参加者が感想を出し合い、自分の考えを交流しながら、田中館長のリードで研修を深めていきました。

本町は、「神石高原町読書活動推進計画」「子ども読書活動推進計画」に基づき施策を通じて、読書活動を通じて「教養のまち神石高原町の確立」を目指しています。

「確立」のために、学校・図書館・社会教育施設の連携等、積極的・具体的な方策も必要です。



令和4年夏…折鶴献呈

8月25日(木)、「令和4年度折鶴献呈」を実施し、町内の方々よりお預かりした「折鶴」を広島平和公園に捧げさせていただきました。

今年度も「新型コロナウイルス」の影響から一般参加を中止とし、各協働支援センター職員と今年度着任した地域おこし協力隊員による「折鶴献呈」となりました。

当日は、神石高原町友会(藤岡さん・甲斐さん・加藤さん)の方々と一緒に献呈式を行い、加藤さんから「原爆ドーム」「原爆死没者慰霊碑」「原爆供養塔」「被爆樹あおきり」等の説明をいただき、最後に平和記念資料館を見学し、改めて平和の大切さを心に刻みました。(町友会の皆様にはお世話になりました。また、「折鶴」作成にご協力いただいた皆様ありがとうございました。)

来年度は、地域の方々・小中学生も一緒に「折鶴」を捧げ、「平和」を考える機会ができたらいと思います。



町内で協力いただいた、129,000羽の折鶴を献呈しました。

8月のゆきキッズ

8月の「ゆきキッズ」は2回開催され、参加した子どもたちは夏の思い出を作りました。

□楽描教室(8月17日)
若林佐都子先生の指導で、水彩絵の具を使って「ひまわり」や「花火」等の絵を描きました。楽しい作品が出来上がりました。

□ものづくり教室(8月23日)
松岡純夫先生の指導で、「水鉄砲作り」に挑戦しました。完成した水鉄砲で大いに盛り上がりました。



「原爆と人間」展 令和4年8月2日～16日



この企画展は、「神石高原町原爆被害者協議会」が主催し、「シルトピアカレッジ図書館」「油木協働支援センター」が共催してシルトピアカレッジ図書館で開催されました。

防災研修会

7月24日(日)、安田自治振興会・安田自主防災会主催「自主防災研修会」が開催され、神石高原ドローン活用研究会から5名が講師として参加し「災害時の備え」について佐藤仁史さんが講義を行い、併せて「ドローン」の飛行実演が行われました。

近年、全国各地において豪雨被害等、さまざまな自然災害が発生しています。「もしも」の場合を常に想定して「災害」に備えることが必要です。声のかけあい等、日頃の地域での関係作りを大切にしましょう。



有害動物駆逐用煙火 安全講習会開催

- 日時 令和4年10月27日(木) 18:00～19:00
 - 場所 油木コミュニティセンター
 - 講師 株式会社ライズ
- 詳細は油木協働支援センターHPにて掲載しています。ご確認ください。



大人の教室 きのご観察会

爽秋の季節 自然観察眼を磨きませんか?

- ◇日時 令和4年9月24日(土) 9:30～14:00
- ◇講師 朽木孝一先生(広島県きのこアドバイザー)
- ◇場所 集合:油木百彩館駐車場
活動:油木地域の山(赤木卓司氏所有)
油木協働支援センター(解散14:00)
- ◇内容 きのご採集・きのご検定/観察会等
- ◇定員 10名(参加費300円 当日徴収)
- ◇持参物 かご・根切り・弁当・飲料水・軍手・タオル

お問い合わせ・申し込み

油木協働支援センター ☎ 82-0701 📠 82-2228



—思いやり 思いやりの心は、子どもの頃からの日常における実践を通して育まれる— (参考:鹿児島県教育委員会社会教育課「かごしま家庭教育ナビ」)

家族のやさしさや思いやりがあると、それが励ましになり、子どもにとっては勇気をもって問題を解決する力になるでしょう。そしてさらに、人々と思いやりをもって接する心を育み、人との友好的な関係を築く力を育むことにもつながるでしょう。

—9月19日は「敬老の日」です—

親が子どもを思いやる心

- 「子どもに対する思いやり」それは、子どものことをよく知ることです。
- 子どもの話をよく聴きましょう。
 - 子どもの中の世界がどんなものなのか、理解に努めましょう。
 - たとえ自分の思う通りでなくても、その子の世界を受け入れましょう

子どもが親を思いやる心

- 「子どもが親を思いやる心」それは、広く他者を思いやる心の基になります。
- 親が、自ら親である祖父母を大切にすることを心がけましょう。
 - バスや電車の中で、体の不自由な人や妊婦、高齢者に座席をゆずる姿や、困っている人に声をかける姿を、親が率先して見せましょう。

いじめをしない
子に育てる

差別をしない
子に育てる

まず、親自身が偏見をもたず、差別をしない、許さないということを子どもたちに示していくことが大切です。



いじめや差別は、人間として恥ずかしい行為です

☆地域で子どもを見守り育てましょう(油木協働支援センター)

